

総社市長 片岡 聡一



テーマは 「日本で一番市民に優しい市へ」

選挙結果	当 片岡聡一	20190 票
	小西彦治	2268 票
投票率	40.48%	

10月1日に行われた総社市長選挙。開票の結果、片岡聡一市長が再選を果たしました。任期は、10月14日から4年間です。

5期目の市政への思いについて、片岡市長にインタビューしました。

就任にあたって

引き続き市政のかじ取りを担うにあたり、改めて責任の重さに身が引き締まる思いです。初心に立ち返り、謙虚な姿勢で市政運営を行ってまいります。

人口7万人への再挑戦

市の人口は、現在増加しています。しかし、来年度からは市街化調整区域における住宅建築のルールが厳格化され、さらに状況が厳しくなることが予想されます。人口7万人を目指す総社市にとって、まさにここが踏ん張りどころ。空き家問題解消や国道180号バイパスの沿道開発をはじめとする、人口増加につなげるさまざまな施策を打ち出してまいります。また、地域づくり自由交付金(※)の見直しを検討し、担い手不足の解消や地域の魅力を高めるための予算増額を図ります。人口増加を実現するためには、行政の力だけ

で解決できない課題がたくさんあります。市民と行政で一致団結して、難局に立ち向かっていきましょう。

※地域づくり自由交付金とは、地域の状況に応じた特色ある地域づくりの推進や地域の課題解決をするために行うさまざまな活動に対する交付金のこと。小学校区などの単位で組織された地域づくり協議会に対して交付され、防災、防犯、環境美化、イベントなど、地域が自ら用途を決定し活用することができます。

独居者の孤独に寄り添う

市内には、配偶者に先立たれ、寂しさを抱えながら一人暮らしの高齢者が急激に増えています。これは総社市だけの問題ではなく、日本全体で核家族化が進んできたことが、今になって各地に影響を及ぼしているものです。市では、これまで国の支援制度創設に先駆けて、ひきこもりやヤングケアラーなどへの支援を

開始してきました。今度は、孤独と向かい合っている人に寄り添い支える取り組みを、いち早く進めてまいりますと考えています。

子育て環境のさらなる充実

これまで、「総社市を変える」というテーマを掲げ、まい進してきました。一方で、絶対に変えたくない、守りたいと思っているものは、美しい自然と人々の優しさです。子どもたちが豊かな自然に学び、地域の人に温かく見守られながら伸びやかに育っていきける環境を守ることは、私の責務だと感じています。来春、昭和地区で義務教育学校がスタート。これまでの英語教育に加え、「山の中の環境留学」と称した環境教育に取り組み、地元だけでなく全国から児童・生徒を募集します。また、子育て世帯への経済的支援の拡大として、中学生の給食費や高校生までの医療費の無償化をできるだけ早い段階で実現する

ことを目指します。

歴史・文化の発信を強化

全国10位の規模を誇る作山古墳(三須)の発掘調査を文化庁に申請していきたいと考えています。また、市が所有する多くの絵画や書などを恒常的に鑑賞できるように、市立美術館建設の検討を始めます。市がもつ歴史や文化を積極的に発信し、これまで以上に多くの観光客を吉備路に迎えます。

市民へのメッセージ

総社市を「日本で一番市民に優しい市」にするために、これまで以上に市民一人ひとりの声に耳を傾け、スピード感と決断力をもって、わくわくするような光輝く総社市を目指してまいります。引き続き、皆さまのご協力を賜りますようお願い申し上げます。

